



大和高田さざんかホール 開館25周年記念コンサート

大井剛史×金子三勇士

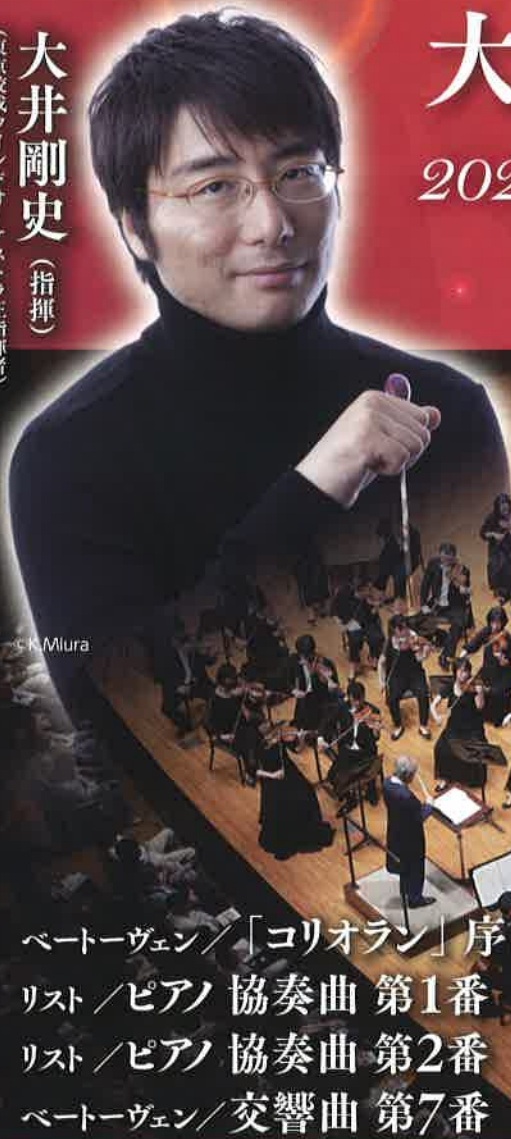
大阪交響楽団

2021/7/17

開場：14:30
開演：15:00

大和高田さざんかホール
大ホール

大井剛史
(指揮)
(東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者)



金子三勇士
(ピアノ)



ベートーヴェン / 「コリオラン」序曲
リスト / ピアノ協奏曲 第1番
リスト / ピアノ協奏曲 第2番
ベートーヴェン / 交響曲 第7番

一般 / 3,500円
大学生以下 / 1,500円(当日各500円増)
友の会会員 / 3,000円(1会員4枚まで、前売りのみ)

小学生以上入場可 ■ 託児保育あり(無料・予約制 7/9金締切)

チケット発売日 友の会先行予約 5/19(水)～
一般発売 5/22(土)～

※一般発売開始日のみホールでの窓口販売 9:00～、電話予約 14:00～

チケット取扱 さざんかホール TEL: 0745-53-8200
ローソンチケット URL: <https://l-tike.com/>
Lコード: 51932

● 今後の新型コロナウイルス感染拡大状況により公演を中止する場合があります。
● 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、席の変更等をお願いする場合があります。

お問い合わせ

大和高田さざんかホール

〒635-0082 奈良県大和高田市本郷町6-36
TEL.0745-53-8200

- 近鉄難波駅から大和高田駅まで約40分
- 近鉄大和高田駅より徒歩約10分
- 近鉄高田市駅より徒歩約12分
- JR高田駅より徒歩約4分
- 奈良交通バス天神橋駅下車すぐ

★お車でお越しの方は車駐留場(JR高田駅
西側)駐車台数200台(有料)をご利用下さい。



主催 大和高田さざんかホール・公益財団法人 日本交響楽振興財団

KEIRIN
競輪の補助事業

この演奏会は、競輪の補助を受けて開催します。

<https://jka-cycle.jp>

大井剛史

Takeshi Ooi conductor

1974年生まれ。17歳より指揮法を松尾葉子氏に師事。東京藝術大学指揮科を卒業後、99年同大学院指揮専攻修了。若杉弘、岩城宏之の各氏に指導を受ける。96年安宅賞受賞。スイス、イタリア各地の夏期講習会においてレヴァイン、マズア、ジェルメティ、カラブチェフスキーの各氏に指導を受ける。2000年～2001年、仙台フィルハーモニー管弦楽団副指揮者。2007年～2009年、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団にて研修。2008年アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第2位入賞。2009～16年ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉（現・千葉交響楽団）常任指揮者、2009～13年山形交響楽団指揮者、2013～17年同正指揮者を歴任。現在、東京佼成ウインドオーケストラ正指揮者。このほかほとんどの国内主要オーケストラを指揮し、多彩なレパートリーとその誠実な指揮でいずれも高い評価を得ている。オペラの分野では、在学中より新国立劇場、東京二期会などのオペラ公演で副指揮者を務め、2002年「ペレアスとメリザンド」（ドビュッシー）を指揮しデビュー、以降多くのオペラ作品を指揮するほか、ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」（バーンスタイン）も指揮。バレエの分野では「ロメオとジュリエット」（プロコフィエフ）などで新国立劇場バレエ団の公演をたびたび指揮、国内を代表するバレエ団やダンサーが一堂に会した「NHK バレエの饗宴」

でも指揮を務めた。さらに、小松原庸子スペイン舞踊団や、野村萬斎、花柳壽輔、井上八千代といった日本舞踊界の名手たちと共演するなど、幅広い舞台芸術分野で活躍している。東京藝術大学音楽学部器楽科非常勤講師（吹奏楽）。尚美ミュージックカレッジ専門学校客員教授。

金子三勇士

Miyuji Kaneko piano

1989年、日本人の父とハンガリー人の母のもとに生まれる。6歳で単身ハンガリーに渡りバルトーク音楽小学校にてハンガリーのピアノ教育第一人者 チェ・ナジュ・タマーシュネーに師事。1997年と2000年に全国連弾コンクール優勝、2001年には全国ピアノコンクール9～11歳の部で優勝。2001年、飛び級（11歳）でハンガリー国立リスト音楽院大学（特別才能育成コース）に入学、エックハルト・ガーボル、ケヴェル・ジュンジ、ワグナー・リタに師事。2006年全課程取得とともに日本に帰国、東京音楽大学付属高等学校に編入し、清水和音、迫昭嘉、三浦捷子に師事。2010年10月にリリースされたデビューアルバム「プレイズ・リスト」はレコード芸術誌の特選盤に選ばれた。2011年第12回ホテルオークラ音楽賞を受賞。2012年第22回出光音楽賞を受賞。2012年第4回C.I.V.C. ジョワドヴィーヴル賞を受賞。2013年、平成24年度上毛賞「第10回上毛芸術文化賞 音楽部門」を受賞。これまでに、準・メルクル指揮／読売日本交響楽団、ゾルタン・コチシュ指揮／ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団、ジョナサン・ノット指揮／東京交響楽団、小林研一郎指揮／読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、大阪センチュリー交響楽団（現日本センチュリー交響楽団）、下野竜也指揮／京都市交響楽団などと共演。海外ではハンガリー、

アメリカ、フランス、ドイツ、オーストリア、スイス、ギリシャ、ルーマニア、チェコ、ポーランド、中国などで演奏活動を行なう。東京音楽大学ピアノ演奏家コースを首席で卒業し、同大学大学院器楽専攻鍵盤楽器研究領域修了。近年ライフワークの一環としてアウトリーチ活動にも積極的に取り組んでいる。またNHK-FM「リサイタル・パッション」の司会を担当、毎週若手アーティストを紹介している。2019年5月には新譜CD「リスト・リサイタル」をリリース、また同年10月公開の映画『蜜蜂と遠雷』では、主人公の一人「マサル」のピアノ演奏を担当、9月には映画サウンドトラックCD「金子三勇士 plays マサル」もリリースされた。コロナ禍でも、オンラインを活用したさまざまな企画を発信中。2021年は日本デビュー10周年を迎える。

キシマロシ名誉市民。スタインウェイ・アーティスト。

オフィシャルHP <http://miyuji.jp/>

大阪交響楽団

Osaka Symphony Orchestra

1980年創立。初代音楽監督・常任指揮者に小泉ひろしを迎える。永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』を提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」と評されている。1992年1月にトーマス・ザンデルリンクを音楽監督・常任指揮者に迎え、オーケストラとしての基礎を築いた。その後曾我大介を音楽監督・常任指揮者に、さらに大山平一郎がミュージックアドバイザー・首席指揮者に、そして2008年4月からは児玉宏が音楽監督・首席指揮者に就任、その活動ぶりと演奏は各方面から高い評価を得た。楽団名を「大阪シンフォニカー」から2001年1月に「大阪シンフォニカー交響楽団」、さらに2010年4月に「大阪交響楽団」と改称。また支援組織として、1988年大阪シンフォニカー協会が設立、2008年12月に一般財団法人となる。さらに2012年4月に支援組織と楽団を統合し、一般社団法人大阪交響楽団となり、2018年11月に公益社団法人となった。2000年本拠地を大阪府堺市へ移転。2006年4月、大和ハウス工業株式会社代表取締役会長/CEO(当時)樋口武男氏が運営理事長を経て、2018年11月公益社団法人大阪交響楽団理事長に就任。2020年10月に大和ハウス工業株式会社代表取締役社長/CEO 芳井敬一氏に理事長をバトンタッチした。日本楽壇最長老の外山雄三がミュージック・アドバイザーを経て、2020年4月名誉指揮者に就任、2019年4月には太田弦(2015年、第17回東京国際音楽コンクール〈指揮〉で第2位ならびに聴衆賞を受賞)が正指揮者に就任し、さらなる楽団の飛躍が期待されている。楽団公式ホームページ(<http://sym.jp>)



大和高田 さざんかホール

詳しくはこちらから